

一般質問

この欄は質問者が提出した
原稿を掲載しています。



中村 博保 議員

子育て支援策について

問 学校の放課後、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりを促進するため、「放課後子どもプラン」が創設されるが、**教育次長** 保健福祉課と連携して、町の事業計画を早急に策定したい。

問 運営委員会をどう立ち上げるのか。

教育長 まず各小学校と保

育園年長児の保護者を対象にアンケート調査をしたい。

問 学校施設の有効利用が必要だ。

教育次長 学校関係者へ働きかけたい。

問 コーディネーターを配置してはどうか。

教育長 配置は必要と考える。指導員としての立場が良いと思う。

問 子育て支援センターの設置状況と今後の計画は。

保健福祉課長 現在、開田保育園に一箇所あるが、19年度は福島地区に整備する予定だ。

問 日義地区と三岳地区にも設置すべきである。

保健福祉課長 利用状況等を見ながら今後検討したい。

問 安心して子育てができる居住支援の充実を。

総務課長 定住促進住宅の整備などに努めたい。

問 子育て支援世帯向けの家賃減額助成や賃貸住宅の供給拡大を。

総務課長 制度内容を詳細に検討して取組みたい。

問 妊婦無料健診の回数を増やしてはどうか。

保健福祉課長 財政面での負担が増え、県医師会等との調整も必要だが、国の交付税措置もなされることから、今後検討したい。

問 子育て支援室の位置づけは。

保健福祉課長 子育て専門の窓口として設置した。

問 子育て支援に対する思いは。

町長 今後も、住民要望に
応える施策を取りたい。

七笑バイパスと美術館について



上垣外 修 議員

問 昨年「まちづくり交付

金」による正沢川地区一帯の整備事業で、町道の新設と美術館建設計画が示されたが、今後の見通しは。

町長 一昨年、王子江氏が来町されてから美術館構想が立ち上がった。

日本ペンクラブ会員の井上ひさし氏も加わり「木曾町に『王子江百メートル美術館』を作る会（人生楽事会）」ができ、活動を始めて資金計画も持っている。

北京オリンピックの芸術部門にも深く関わっており、中国でも評価の高い作家である。

美術館が地域振興にどうつながるのか、19年度は見極めていきたい。

企画調整課長 平成16年国交省が設定した「まちづくり交付金」を活用し、「七笑バイパス」を基幹事業として立案した。

事業期間が5年間に限られ、住民への説明、遺跡調査などクリアすべき問題も

多く、現時点では事業化の予定は立たない。

問 美術館が建設された場合、運営をどうするか。

町長 王子江氏は、美術館が出来れば木曾に移り住み、アトリエを構え創作活動をおこないたいとしている。

作品は寄贈したいと伝えられているので、かなりの数が揃うと思う。また、町になじみの深い亀子誠氏の絵と千村志乃武氏の彫刻も展示したいと考えている。

問 4月14日から5月13日にかけて開催される『王子江人生楽事展 in 木曾』開催について、町としてどのように関わるのか。

観光商工課長 京都から2名来町し「人生楽事会」主催で計画されている。

運営費用は、観光宣伝費としてある程度応援したい。

町民は一回に限り無料で入場できるので多くの人に鑑賞してもらいたい。